

「自分の目と足でかせぐ郷土史学習」とは

平成17年9月10日

丸亀郷土史学習クラブ

坂出第一高等学校長

1. 「覚える」から「考える」郷土史学習へのシフト

調べ考える学習を重視し、「理解する」だけでなく「考察する」態度を培う。

「教え過ぎない。急ぎ過ぎない」「学校は教えるだけで、人を育てない。」

東京工業大学教授山室恭子「歴史の躍動感が歴史学にもほしい」、作家塩野七生「歴史を学ぶことは、人間を学ぶこと」

2. 「郷土史学習」に寄せて

今、なぜ、ふるさと・ふれあいののか。

「中世山城」との出会い～歴史を学ぶ楽しさをこそ

Ⅲ. 事例を挙げて話題提供

1. 丸亀市金倉町・中ノ池遺跡（弥生時代前期の環濠集落）
2. 高松市・石清尾山古墳群（古墳時代前期の謎多い積石塚群）
3. 高松市・屋島城跡と坂出市・城山城跡（備讃瀬戸をにらむ古代の山城）
4. 三野町吉津・宗古瓦窯跡（藤原宮の瓦生産、国内最大級の瓦窯跡群）
5. 坂出市・讃岐国府跡（上国讃岐の国府遺構）
6. 魅力的な中世城郭「香川県中世城館跡詳細分布調査報告」から

（おわりに）

歴史的思考力を鍛える「読む・知る・考える・判断する」
郷土史学習の成果を、ぜひ形に